

2月6日から第22回オリンピック冬季競技大会がロシアのソチで開催されており、弊社の地元である北海道からも多くのスポーツ選手がオリンピックに出場している。日本勢のメダル獲得や上位入賞など期待しております。

ちなみにロシアのソチと日本では5時間の時差があり、人気のフィギュアスケートなどは現地時間で19時からの競技開始ですが、時差が5時間もある日本時間では夜中の0時からになるので、睡眠不足で体調を崩すようなことがないように注意しなければなりません。

まだまだインフルエンザも猛威をふるっている時期でもありますが、うがいと手洗いの徹底、マスクの着用などで予防と感染の拡散に気をつけたいところです。

「パルサーSP」ゴト器 異物センサーに弱い セット後判別が難しい

1月に九州のホールで、山佐「ニューパルサーSP」においてクレ満クンによる被害が発生したとの情報が入りました。情報によると、今回の山佐で使

用されたクレ満クンは、メダルセレクタに搭載されている異物センサーを上手く避けて挿入される仕組みにはなっていたそうです。しかし、異物センサーを避けて挿入する作業がとてしビアで、ちょっとした失敗するとすぐにセレクタエラーが発生することが、ゴト師が逃走する際に落としていったクレ満クンの検証結果から判明しています。

これらのセレクタエラーを回避する方法として、リール回転中やメダル精算によるクレジット払出中にクレ満クンを挿入することが

予想されます。過去の手口では、ジャグラーのクレ満クンを挿入する場合に、リール回転中に挿入するケースが実際に発生しております。

また、メダル詰まりの解消用に設けられている返却ボタンを押しながらクレ満クンを挿入するといいうのも、ジャグラーのクレ満クン挿入時の定番しぐさでしたが、山佐の場合はメダル詰まり用の返却ボタンが無いので、このパターンでの突破はできません。

ジャグラーのクレ満クンと同様で、今回発見された山佐用のクレ満クンもメダル投入口に挿入セット後は外見からの目視判別はとて困難なつくりになっており、ホールをラウンドしているスタッフがクレ満クンがセットされている状況を見出すことは、残念ながら難しいことと思われれます。

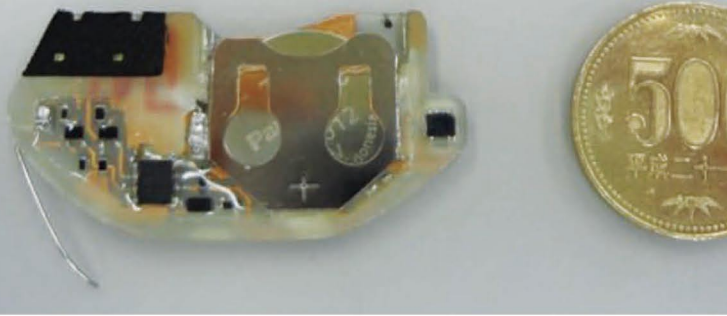
「宇宙戦艦ヤマト」など 同型の筐体は注意を アゲる枚数も変化し

現在出荷されている山佐製現行筐体は別形状のメダルセレクタであり、今回押収されたクレ満クンは挿入することさえ出来なかった

ゴトに勝つ 高石隆一

30

「通常」装っくれ満クン続出
危ない「ウチは大丈夫だ！」



スイッチを押すとクレジットが9枚上がる仕様になっていました。このクレジットが上がる枚数は、設定やプログラムの変更により調節が可能であり、必ずしも山佐のクレ満クンのすべてが9枚上がる仕様になっているという訳で

とのことですが、「パチスロ宇宙戦艦ヤマト」「パチスロ戦国無双」猛将伝「天下布武2」「パチスロモンキーターン」などのヤマトモデル筐体は「ニューパルサーSP」と同形状のメダルセレクタなのでクレ満クン被害機種として厳重な注意が必要です。鉄拳2nd、鉄拳デビルなども類似のメダルセレクタなので注意が必要と思われます。バラエティコーナーの1台を狙ってゴト師が訪れる可能性があることを忘れないでください。

検証した結果、メダル投入口から出ているクレ満クンの針金状の

はありません。

過去には、同一の形状のクレ満クンであっても、片方はクレジットの上がる枚数が9枚で、もう片方のクレ満クンはクレジットの上がる枚数が15枚だったというようなケースがありました。

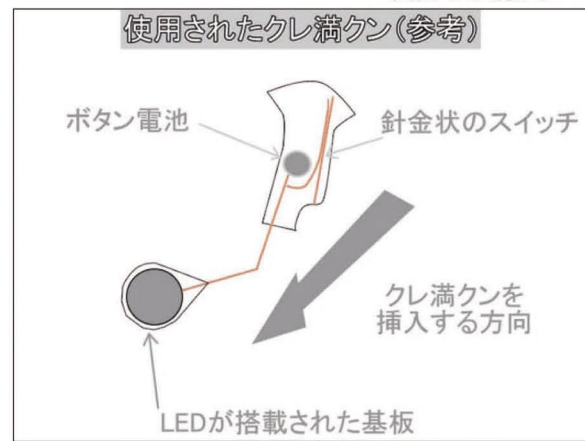


普通の客に見えてもエラー発生したらチエツクの徹底が重要

いずれにしても、クレ満クンが開始した10年前のようなクレジットを満タンにして精算ボタンを押して払い出すという使用方法では犯行がバレやすいということから、最近ではお金を使わずに遊技する道具としてクレ満クンが活用されるようになっており、クレ満クンを使用している最中も普通に遊技しているお客様を装っていることで、その犯行に気がつくことが難しくなっております。

しかし、冒頭でも説明しましたが、今回の山佐で使用されたクレ満クンは、異物センサーを避けて挿入する作業がとてもしビアで、ちよつとでも失敗するとすぐにセレクトエラーが発生するというこ

山佐 クレ満クン



とが重要な発見ポイントになるのではないでしょう。

セレクトエラー等のエラー発生状況をインカムを活用して情報共有し、役職者の方はその情報から防犯カメラの録画映像チエツクの実施を徹底することで、ゴト犯罪被害にいち早く気がつく可能性が高くなるものと思われれます。

ユニバーサル系はメダルセレクタ内に器具完全に押し込む

昨年からちよいちよい噂になっていたユニバーサル系スロットのクレ満クン被害に関して、昨年12月26日に全日遊連を通じてエレコ「ミリオンゴッド」神々の系譜

ゼウスUV」において「何らかのゴト器具をメダルセレクタに装着し不正にクレジットを上げる」といった不正事案に対する注意喚起文がメーカーから発布されて、噂ではなく現実に被害が発生しているということが証明されたので、ユニバーサル系のスロット機もゴト被害への警戒をお願いいたします。

今回のユニバーサル系のクレ満クンは、ジャグラーや山佐のクレ満クンと違ってクレジットを上げる器具をメダルセレクタ内に完全に送り込むタイプのクレ満クンであるということです。その器具は500円玉を二枚横に並べたくらいの大きさで、メダル投入口から挿入するとその器具はセレクタ内に留まって、メダルが投入された時と同様の信号を自動的にその器具が発信して、セレクトのセンサーがその信号を受信して結果的にクレジットが上がるという仕組みになっています。

このゴト器具(クレ満クン?)の回収方法は、メダルの返却ボタンを押すと下皿に戻ってくるというようになっており、過去にジャグラーのメダル戻しゴトで全国的

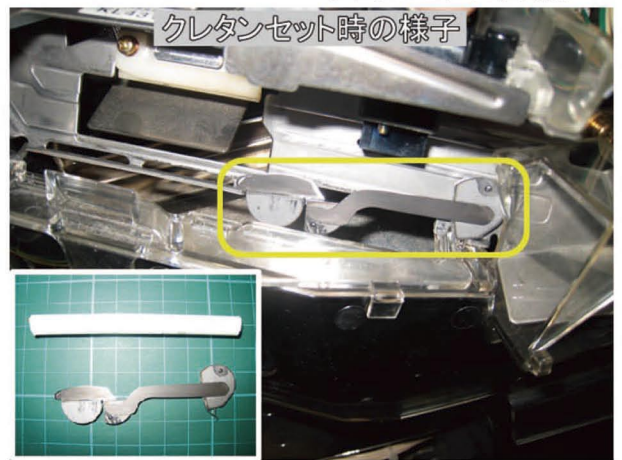
に被害が多発した「クレタン」やクレ満クンの類似ゴト器具として地味に被害が多発した「クレ増」というゴト器具の進化系と言えば、イメージしやすい人が多いのではないのでしょうか？

山佐とユニバーサル系のクレ満クンに関しては、弊社でゴト器具を押し検証したものではないので、まだまだ不確かな部分が多く、間違った情報をお伝えしている可能性もあります。情報の訂正や手口の詳細が判明すれば、随時この誌面で今後もお伝えしていきます。

AKB48のセルゴト？ リール回転のまま 放置された不審台

昨年末頃から京楽「パチスロAKB48」において、セルゴトの被害に遭ったと思われる状況が関西方面を中心に多数発生しているとの情報が寄せられております。残念ながら手口の詳細は不明ですが、寄せられた情報は「数名が当該機種を囲んだ後に突入したARTが1000ゲームを超えてあった」や「筐体になにかを差し込んでいた」という内容でした。

クレタンセット時の様子



また、ある店舗では、リールが回転したままに放置されている不審な「パチスロAKB48」をホールスタッフが発見しました。その不審な台の液晶画面には「コマンド通信エラー」と表示されていたそうです。

見慣れないエラーであるため役職者へ状況を伝えて、それを聞いた役職者はすぐに防犯カメラの録画映像をチェックしたところ、実行役が液晶左部分に何かを挿入しているしぐさや、壁役が犯行現場を隠している状況などが確認出来たそうです。

録画映像には、コマンド通信エラーの発生と同時に一斉に退店する4人のゴト師の姿が映っており、

パチスロAKB

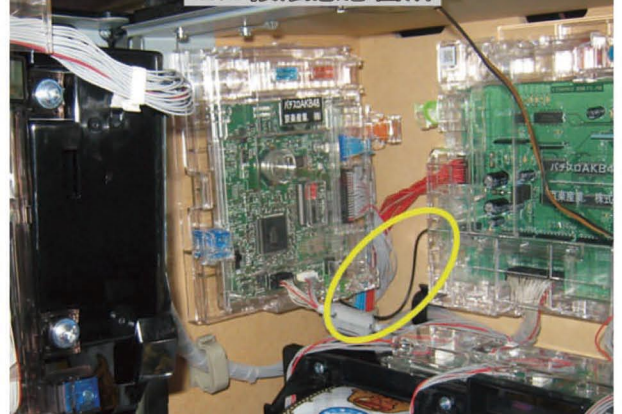


被害台を点検したところサブハーネスからはセルの接触による傷が見つかったそうです。

「通信エラー」発生は すでに仕事のあと 実行犯はすでにいない

これらの状況から「パチスロ攻殻機動隊S.A.C.」や「バイオハザード5」などで被害が多発した、セルを使用して不正なコマンドを送信するという手口のART誘発ゴトの可能性が高いと思われます。今回の事例では、たまたま「コマンド通信エラー」が発生しただけで、他店での犯行状況では一切のエラーの発生がなく被害に遭っ

セル接触懸念箇所



ているケースが多いので、他メーカーの他機種を狙ったセルゴトの被害事例からも「コマンド通信エラー」はゴト失敗時のみ希に発生するエラーの可能性が高いということに注意してください。

このことから、当該エラーが発生した場合には、ゴト被害に遭った結果として「コマンド通信エラー」が発生している可能性が高まりますので、必ず防犯カメラの録画映像チェックの徹底をお願いいたします。

最近のセルゴト事案は、ある地域で発生したゴトがまたたく間に全国各地で発生する傾向があります。見慣れないお客様が大量のART残りゲーム数を消化している

(ARTが長時間続いている)、見慣れないお客様が大量の出玉を所持しているなどの状況を確認した場合には、ご面倒でも防犯カメラの録画映像を遡ってチェックするようにお願いいたします。

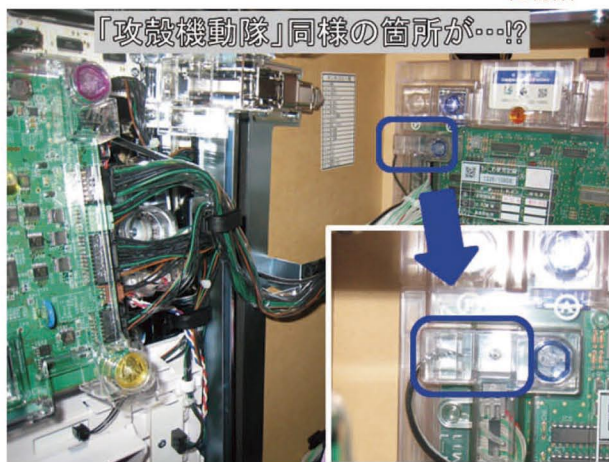
その際の注意点として、現在遊技している人物は「打ち子」であってARTを消化しているだけの可能性が非常に高く、現在遊技している人物より以前に当該台に着席していた人物が実行犯であるケースが多いということを再確認して、イザという時に対応するようお願いいたします。

ゴト対策重視の店舗 約半月の間に12件 3万枚以上の損失に

前号でお伝えしたサミー「パチスロ化物語」を狙ったセルゴトに關してですが、昨年12月中旬から全国的に被害が多数発生している状況ですので、引き続き当該遊技機設置店舗におかれましては細心の注意をお願いいたします。

あるチェーン店舗から寄せられた被害情報によると、12月中旬から下旬までの短期間で12件もの被害

化物語



害が発生しており、その内5件で実被害が出てしまい、少なくともトータルで3万5千枚以上の被害が出てしまったとのこと。

ちなみに情報を提供していただいた「あるチェーン店舗」は、とてもゴト対策に力を入れていて、決していい加減な対応をしている店舗ではありません。そんなしつかりした店舗で被害が出てしまうことは残念なことではありますが、ゴト被害に遭ったことにしつかり気がついていっていることはとても重要なポイントで、やられたことによる反省から、次にどうすべきかという新たな対応が生まれてくるのです。

酷い店は、自店がゴト被害に遭



っていることに全く気がつくこともなく、他店がやられている状況を聞いて笑って「うちの店は大丈夫!」と根拠のない自信に満ち溢れているから厄介です。プロの目から見ると穴だらけの対応も多く、他店で追い払われたゴト師の餌場になっているケースもあります。

9999枚の表示 実は1万枚を超える 払い出しになって

前号では、ゴト被害により『倍チャンス』で獲得可能枚数が9999枚と表示されるとお伝えしましたが、内部的には1万枚を超える枚数が上乗せされており、そ

の結果、ATを消化して多数の払い出しがあっても獲得可能枚数が9999枚から減らない現象になるということがゴト被害店舗からの情報で確認されております。

そもそも獲得可能枚数が9999枚と表示される程の上乗せが発生するケースは超レアケースのはずですので、もし獲得可能枚数が9999枚となっていた場合は、防犯カメラの録画映像チェックを確実に実施するようにお願いいたします。

店舗側にゴト被害を発見されると交換拒否という対応をされて稼ぐことができなくなるので、今後はゴト犯行の発覚を逃れるために獲得可能枚数が9999枚にならないように、仕込み作業時にレア小役情報の送信を少なめにしていく可能性があることにも注意が必要ですよ。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち

警備会社の指導員、セキュリティ会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキュリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務めるかわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。二期云が座右の銘。